動物用医薬品

ニューキノロン系抗菌薬

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

エンロフロックス® 注10%
ENROFLOX® INJ. 10%

エンロフロキサシンはニューキノロン系抗菌剤であり、グラム陽性菌、多くのグラム陰性菌及びガラムコレラムに対して効果があります。
作用は殺菌的で、細菌のDNAジャイレースに作用してその増殖を阻害します。その代謝物はシプロフロキサシンであり、抗酸化性があることが知られています。

【成分及び含量】
本剤 1 mL中
エンロフロキサシン…………………………………… 100 mg

【効能又は効果】
有効菌種：本剤に感受性の下記菌種
大腸菌、プドウ球菌、エンテロコッカス・アセチノパシス、プルロニューモニエ、マイコプラズマ・ポピス、ウレラプラズマ・ディバーサム
適応症：本剤は抗細菌効果の期待できる症例に対して使用します。
牛：無熱、大腸菌性下痢
豚：胸膜肺炎、大腸菌性下痢

【用法及び用量】
1 日 1 回、体重1 kg当たりエンロフロキサシンとして下記の量を牛では頭部皮下に、豚では頭部筋肉内に注射する。
牛：無熱 2.5 mg ～ 5 mg 3 ～ 5 日間
豚：胸膜肺炎 2.5 mg ～ 5 mg 3 日間
大腸菌性下痢 2.5 mg 3 日間
大腸菌性下痢 1.25 mg ～ 2.5 mg 1 ～ 3 日間

投薬開始後 3 日以内に治療効果を確認し、効果がみられない場合には栄養師の判断に基づき薬剤の変更等を行うこと。

【使用上の注意】
(基本的事項)

1. 守らなければならないこと
(一般的注意)
・本剤は要指示医薬品であるので飼医師等の処方箋・指示により使用すること。
・本剤は効能・効果において一定されない適応症の治療にのみ使用すること。
・本剤は規定された用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内的投与であってもそれを反復する投与は避けること。
・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 83 条の 4 の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者の適正使用を基準が定めた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛・豚）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。
牛：食前・食後各 14 週間
豚：食前・食後各 14 週間

(使用者に対する注意)
・本剤は強いアルカロイド性（pH 約 10）であるので、皮膚、飲食物にした場合に速やかに水洗いすること。
（取扱い及び廃棄のための注意）
• 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
• 開封後は速やかに使用すること。
• 本剤は有害期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
• 小児の手の届かないところに保管すること。
• 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
• 食品とは区別して保管すること。
• 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
• 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないよう注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
• 使用済みの注射針は、封詰めの専用容器に入れること。封詰めの容器の廃棄は、医療廃棄物収集運搬業及び医療廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）
• 本剤は第3類薬で、無効の場合を含めて、直ちに医師の診察を受けること。
• 本剤が体内に入った場合には多量の水（水道水）で十分に洗った後、医師の診察を受けること。

（牛及び豚に関する注意）
• 本剤の投与が認められた場合には、速やかに鑑定医師の診察を受けること。

【専門的的事項】

① 重要な基本的注意
• 本剤は第3類薬で、無効の場合を含めて、直ちに医師の診察を受けること。
• 本剤の処方を当たっては、聴覚障害の発現を防ぐため、原則として聴覚検診を確認し、適応症の治療上必要な最低限の期間の投与に止めるもの。

② 一般作用
• 腎機能障害で、非ステロイド性消化管障害との併用により、まれに腎機能障害が発現するとの報告がある。

③ 副作用
• 本剤は注射部位で発熱を起こすことがある。

④ その他の注意
• 本剤は、カルジクス酸高津株式会社に対して効力を示すが、カルジクス酸高津株式会社に対しては効力を示さない。

【有効期間】
36ヶ月

【包装】
100mL（プラスチックボトル）

【製品情報お問い合わせ先】
フジタ製薬株式会社
〒193-0042 東京都八王子市極田町1211
電話（042）661－5528（代）